

＜目指す生徒像＞

国際人として考え行動できる生徒

- 1 様々な場面で言葉や技能を使いこなす
- 2 信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する
- 3 見通しをもって計画的に行動する
- 4 他者の立場で物事を考える
- 5 感情をコントロールする
- 6 ルールを踏まえて建設的に主張する
- 7 目標の合意形成を図り、他者と協働する
- 8 意見の対立や理解の相違を解決する



校訓 進取の気性

【教育目標】
人間尊重と相互信頼を基盤として、平和で民主的な国家及び社会の形成者を育成することを
目指し、次の目標を掲げる

- 自律** … 自ら考え、判断し、行動する
- 尊重** … 違いを理解し、他者を尊重する
- 創造** … 豊かな発想で、
新たな価値を生み出す

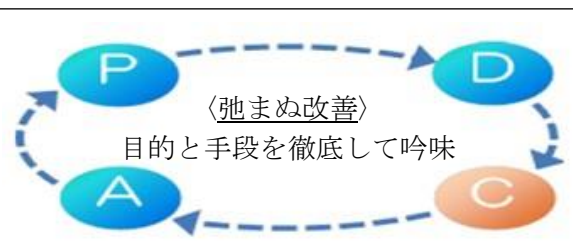
＜目指す教師像＞（人づくりは人づくりから）

生徒が経験を通して身に付けた能力を価値づけることのできる教師

- 教育の充実のために創造的なアイデアを生み出すことができる
- 相互利益を目指したコミュニケーションをとることができる
- 多様な考えをもつ人材と協働して成果を出すことができる
- 自己が陥りがちな思いこみの傾向を理解できる

＜質の高い魅力的な教育活動の創造＞

- ◇社会で再現できる学びの習得
 - フレームワークの習得
(スケジュール手帳・ノート)
 - 協働的な学びでの思考ツール、プレゼン技術の習得
 - スキルアップ宿泊
 - アフタースクールの充実（ロールモデル）
 - 麹中塾の運営（学習支援、学習相談）
 - サークル活動の充実
(写真、プログラミング、他)
- ◇集団を意識して行動できる力の育成
 - 自治活動の促進
 - ・体育祭・麹中祭・避難訓練等の自主運営
 - ・報道局による広報活動の促進
 - ・ボランティアの促進
(清掃、リサイクル活動他)
- ◇多様性を受け止め、他を尊重する資質の向上
 - 人権教育の推進
 - 共同学習・交流学習の推進
(特別支援教育の理解啓発)
 - 教育相談体制の充実
 - ・全員担任制による学年運営
 - ・ふれあい月間の実施（年3回）
 - ・QJテストの実施（年2回）
 - 自己有用感の醸成
 - ・「Heart Global」の実施（1・2年生）
- ◇社会における自己の生き方を考える
 - ミライ探究フィールドワーク
 - 企業・大学との連携
(クエストエデュケーション、ツアー企画取材旅行)
 - 同窓会と連携した「卒業生が講師」の実施
 - 地域避難所運営と連携した総合防災訓練、普通救命講習



◇学校評価の2つの視点

【カリキュラムマネジメント】

- ・個別最適化した教育の推進
- ・自律型の学びへの転換
- ・社会とシームレスな教育の推進（民間活用）

【組織マネジメント】

- ・責任と権限の明確化
- ・組織運営の正確性、効率化の向上

◇学校組織内での改善事項の共有及び検証

- ・新たな仕組み作りの取組等

◇当事者意識の醸成

- ・地域協働学校運営協議会における改善活動
- ・生徒会、保護者参加型の学校改善会議等の実施

＜質の高い効率的な組織運営の実現＞

- ◇個々のスキルアップ
 - 徹底したOJTの推進
 - ・全教職員の当事者意識の醸成
 - ・人権感覚を磨く
 - ・生徒の自律を促進する指導技術の向上
 - ・プレゼンテーション能力の向上
(ICT等の活用)
 - ・人間関係調整力の向上
(外部との折衝・連携)
 - ・企業・専門家等によるスキルアップ研修
 - ・脳科学の研究成果を基盤とする指導法の実践
- ◇組織的な学校運営の実現
 - 3S（整理・整頓・清掃）の徹底
 - 当事者意識、情報共有の徹底
 - 報告・連絡・相談の徹底
 - ・意志決定システムの遵守の徹底
 - ・校務支援システムの活用
 - ・諸会議の精選と効率化
(ホワイトボード、Teams、電子データ等活用)
 - ・ケース会議の活用
(不登校、いじめ等への対応)
 - SS(スチューデントサポート)班の活用
 - ・学年を超えた対応
 - 予算執行管理の徹底とコスト意識向上
(時間・経費)
 - 職員・分掌の創意工夫の奨励
 - ・上位目標の達成
 - ・保護者・地域の理解
- ◇服務規律の徹底とマナーの向上
 - 法令の遵守（体罰、個人情報、他）
 - 接遇能力の向上（電話・来客対応）